

丹後天橋立大江山国定公園 & 若狭湾国定公園

～里山・里海の自然と文化が息づく新しい公園～



丹後天橋立大江山国定公園

① 概要

京都府北部地域には、日本三景天橋立をはじめ、丹後王国、鬼伝説の大江山など、世界に誇りうるすばらしい自然環境や、歴史・文化に彩られた景観が数多く残っています。また、棚田や茅葺き民家など、長年にわたる人と自然との関わりによって形成された里山のすばらしい景観があります。

先人たちが守ってきたこれらの美しい自然や里山のくらしを大切に、次の世代に伝えていきたいと考えます。

所在地： 福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

指定年月日： 平成19年8月3日

面積： 19,023ヘクタール

② 各地区の特徴

丹後半島の「海岸と美しい海」、半島中央の「高原と多様な自然」、天橋立などの「白砂と青松」、大江山を中心とした「連峰と雄大な景観」。変化に富んだ表情豊かな公園です。

1 丹後半島海岸地区

丹後半島海岸地区は、日本海に面し、琴引浜や立岩、丹後松島や砂浜など奇岩、砂州、島、岬など、さまざまな海岸景観が見られます。また、浦島伝説や間人伝説、伊根の舟屋など歴史・文化景観も多様です。

2 世屋高原地区

世屋高原地区は、丹後半島のほぼ中央に位置し、標高500～600mの稜線が連なる高原です。

この地区は、近畿でも有数のブナ・ミズナラ等の落葉広葉樹林や希少な動植物、溪流、湿原、山頂から真下に海を見下ろす半島ならではの眺望景観があり、棚田などの文化的景観を含み、さまざまな自然風景を見ることができます。

3 天橋立地区

松島（宮城県）、宮島（広島県）と並ぶ日本三景の一つである「天橋立」は、全長約3.6kmの砂州で、約8000本のクロマツも名松百選として名高く、また、名水「磯清水」、伊勢より早く天照大神を祀った「元伊勢籠神社」、日本三文殊で知られる「智恩寺」などの名所も点在しています。

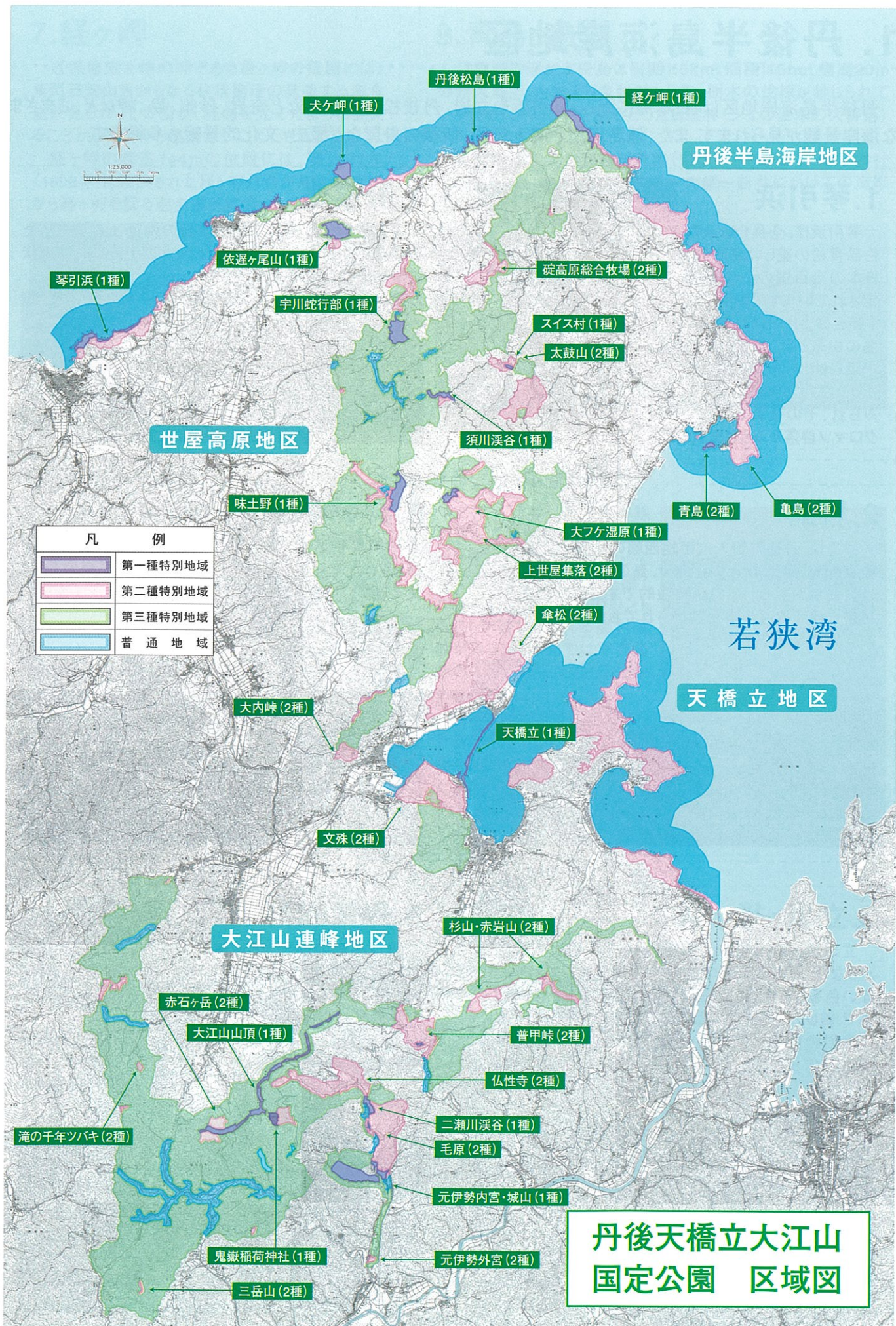
また、奈具海岸は、宮津花崗岩からなる白い岩肌とその上に生える松とが美しい景観をつくっています。

4 大江山連峰地区

大江山連峰地区は、丹後半島の南に位置し、標高600～800mの稜線が東西に連なっている連山地形です。連山の山頂からは360度の視界が広がるパノラマ景観や稜線からの山間景観、鬼嶽稻荷神社から見る雲海など、さまざまな自然風景を見ることができます。

③ 地種区分

特別保護地区	原生状況を維持する必要がある地域	0 ha
第1種特別地域	現在の景観を極力維持する必要がある地域	617 ha
第2種特別地域	農林漁業活動について調整を図ることが必要な地域	4,518 ha
第3種特別地域	通常の農林漁業活動については原則容認する地域	13,164 ha
普通地域	特別地域の風景維持のための緩衝地帯として必要な地域	724 ha
計		19,023 ha



1. 丹後半島海岸地区

丹後半島海岸地区は、日本海に面し、琴引浜や立岩、丹後松島や砂浜など奇岩、砂州、島、岬など、さまざまな海岸景観が見られます。また、浦島伝説や間人伝説、伊根の舟屋など歴史・文化的景観も多様です。

1. 琴引浜

琴引浜は、全長1.8kmの白砂青松の美しい海岸で、日本の渚百選の一つに選定されています。浜の砂は「鳴き砂」と呼ばれ、浜の名の由来となっています。

浜には、ハマナス、トウテイヤン等の海浜植物が多くみられ、その後背地には、クロマツ群落がみられます。



4. 屏風岩

屏風岩は、筆石の海食崖前面の海面上に直立した石英安山岩からなる孤立した岩で、北西方向に一直線状に複数の小島が並んでいます。



2. 城島

城島は、丹後町間人市街地西端の北西方に隣接する標高21m、周囲4kmの小島で、島の北岸・西岸には、広い波食台が見られるのが特徴的です。島は、公園として島を一周する遊歩道が整備されており、トベラを主とする常緑広葉樹林がみられます。



5. 犬ヶ岬

犬ヶ岬は、別名を犬崎ともいい、日本海側の自然に切り落とされた海食崖と元々の山が、犬が寝ている姿のように見えることから呼ばれています。



3. 立岩・後ヶ浜

立岩は、高さ約20m、周囲約1kmの巨岩で、玄武岩からなり、見事な垂直の柱状節理が発達しており、黒っぽい色をした立岩と砂州の白い砂とのコントラストは見事で、美しい景観を形成しています。

立岩の南側には、約300mにわたってユウスゲ等の海浜植物が多くみられる後ヶ浜が続いています。浜の砂は、その粒が大きく赤みを帯びているので、波打ち際が赤く見えるのが特徴です。



6. 丹後松島

丹後半島の袖志から中浜にかけては、幅も広く連続性の良い段丘面が発達しています。海岸線付近には奇岩に富む海食崖や海食洞などが形成されていて、美しい海岸景観が見られます。

また、平付近では、前面に形成された小島が美観を構成しており、此代から経ヶ岬の方を見る眺めが、日本三景のひとつ「松島」と似ているところから丹後松島と呼ばれています。



7. 経ヶ岬

近畿地方北端の岬である経ヶ岬の周囲には、角閃石安山岩からなる柱状節理の発達する海食崖が見られ、その姿が、経巻を立てたように見えることから経ヶ岬の名前がついたとされます。

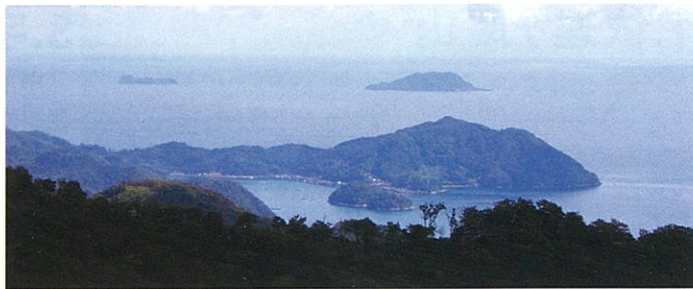
経ヶ岬の標高144mの位置には、明治31年(1898年)に開設された経ヶ岬灯台があり、駐車場から経ヶ岬を回る遊歩道が整備されています。



9. 青島・亀島

伊根湾に浮かぶ青島は周囲1.5km、面積は5ha、標高20mの無人島で、古来より魚付林として、樹木の伐採が禁じられているため、シイ、タブを中心とした自然林(シイの巨木の大群落)がみられます。

青島内には、自然観察研究路(遊歩道)や鯨の墓、蛭子神社などがみられ、亀島周辺の鷲崎～大原～新井にかけての海岸線には、急崖が連続しています。



8. かまや海岸

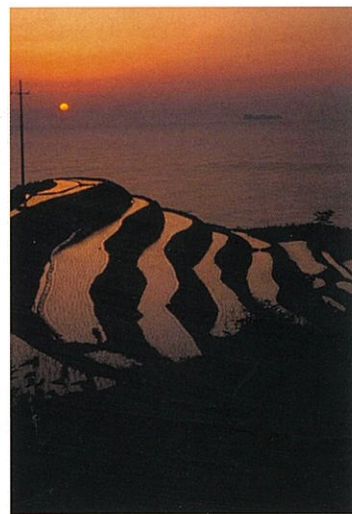
かまや海岸は、丹後半島東岸の経ヶ岬から伊根町蒲入までの3.5kmの海岸で、高さ100m以上の急崖が連続しています。



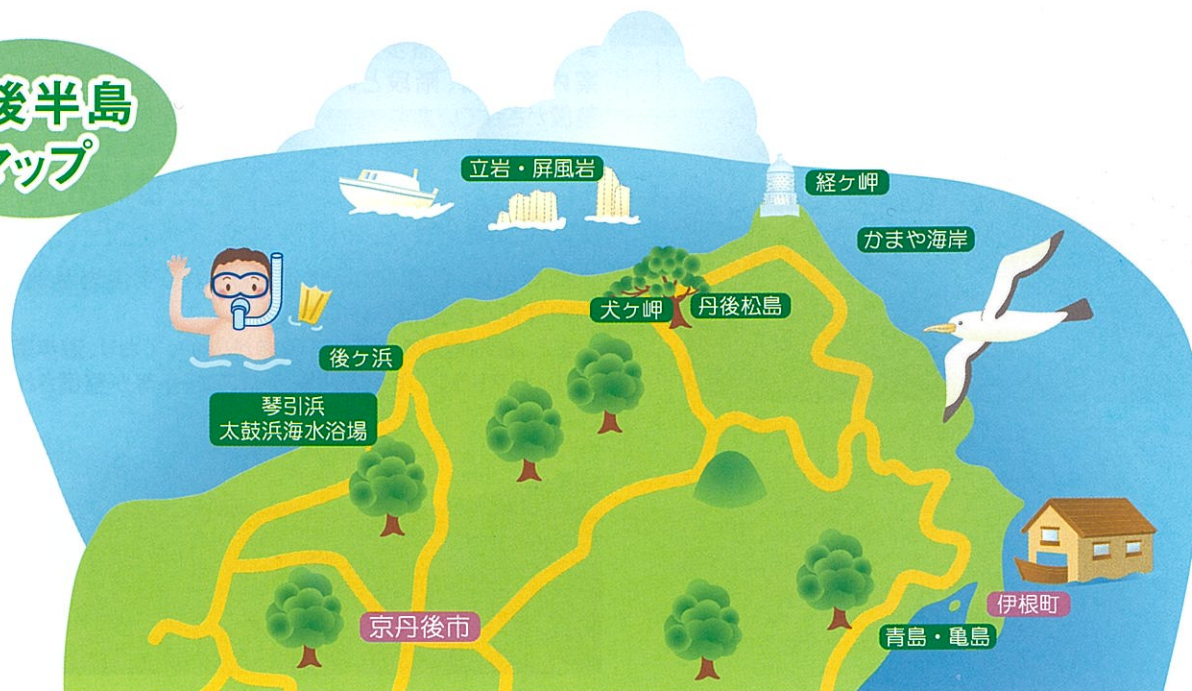
10. 新井の棚田

大原～新井に至る海岸線の見下ろす急斜面には、千枚田と呼ばれる棚田が連なっています。町道「亀島本庄浜線」からは、日本海と棚田のコントラストが美しく映える農村景観がみられ、地元では写真撮影のスポットとして知られています。

特に、朝日が昇る田植え前の千枚田には、日の光を浴びて輝く千枚田を写真に収めようとするカメラマンで賑わいます。



丹後半島 マップ



2. 世屋高原地区

世屋高原地区は、丹後半島のほぼ中央に位置し、標高500～600mの稜線が連なる高原です。

この地区は、近畿でも有数のブナ・ミズナラ等の落葉広葉樹林や希少な動植物、溪流、湿原、山頂から真下に海を見下ろす半島ならではの眺望景観があり、棚田などの文化的景観を含み、さまざまな自然風景を見ることができます。

1. 依遅ヶ尾山

依遅ヶ尾山は、標高540mの独立峰で、山頂部付近（標高400m以上）が台地状になっているのが特徴的です。山頂からは経ヶ岬や丹後半島の海岸線や、世屋高原、大江山が望め、絶好の眺望ポイントになっており、山の南側からは案内板等が整備された登山道があり、また山頂には石積み の窟や祠があることから、登山としての利用や 地元の信仰の対象しても利用されています。



3. 宇川蛇行部

宇川蛇行部は、宇川の中流部（川久保～中津間）に位置し、両側斜面はV字谷をなしており、花崗岩類を深く刻む見事な穿入蛇行が形成されています。

周辺は、比較的自然性の高いアカシデ・イヌシデ群落、ケヤキ群落の落葉広葉樹林やシイ・カシの常緑広葉樹林が広がり、四季の変化とともに美しい山間景観を呈しています。



4. 須川溪谷

須川周辺地は深い谷の溪流で、周辺には、比較的自然性の高いクリや、ミズナラ、ケヤキ、シデ等の落葉広葉樹林が広く分布しており、またハルユキノシタ、トキワイカリソウなどの貴重な植物が、溪流美と一体となって美しい景観を見せています。

また、須川集落からスイス村までは、近畿自然歩道として案内板や橋、階段といった整備がされています。



2. 太鼓山

太鼓山は標高683mの非火山性孤峰で、日本海側の眺望景観はすぐれています。山頂付近には、二次林的なブナ林がみられ、その林床にはエゾユズリハ、ヒメアオキ、ハイイヌガヤ、ユキザサ等が多数生育しています。

太鼓山周辺にはスイス村森林公園が整備されており、宿舎、スキー場、キャンプ場等の施設が設けられています。



5. 碓高原

碓高原は、標高400m付近にみられる安山岩台地で、日本海への良好な眺望が開けています。

また、台地地形を利用して牧場が広がっており、遊歩道、展望台、トイレ、レストラン、キャンプ場、テニスコート等が整備されています。



6. 味土野

宇川上流部の味土野は、標高250～500mにあり、急峻な溪谷地形を形成しており、壮観な落差約20mの「味土野の大滝」や、周辺には細川ガラシャが隠棲していた史跡もあります。

また、特定植物群落「味土野のシデ林」に選定されているようにシデ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がっており、四季の変化に富んだ森林景観が楽しむことができます。



8. 大フケ湿原

大フケ湿原は、世屋高原の標高約540mに位置する地すべり地にみられる高層湿原で、クリ、ミズナラ等の落葉広葉樹林に囲まれており、湿原内にはミズゴケや湿地性の植物(サワオグルマ)をはじめ、ノハナショウブ、ヒメミクリなどの貴重な植物も生育しています。

また、ハッチョウトンボ、オオコオイムシ、ミズメイガの一種など貴重な昆虫も生息しています。



7. 内山・木子

内山周辺は、京都府内で数少ない貴重なブナの生育地で、その核心地は、府の自然環境保全地域に指定されており、内山登山の入口部分には、休憩所や登山道が整備されています。

木子の集落から約500m北東方向にみられる鍋ヶ淵は、2段の小さな滝で、その岩壁には、お地蔵様が彫られています。



9. 上世屋

上世屋には、棚田や郷土性に富んだ民家など、すぐれた里山景観がみられます。

また、その周辺には平坦な地形を利用して、自然とふれあえる家族旅行村(キャンプ場)、体験実習館、遊歩道等が整備されています。

周辺には、スギ・ヒノキ植林のほか、コナラ、クリ、ミズナラ、シデ等の落葉広葉樹林が広く分布しており、早春にはスマレ、トキワイカリソウ等の可憐な花々が見られます。



世屋高原地区 マップ



3. 天橋立地区

松島、宮島と並ぶ日本三景の一つである天橋立は、全長約3.6kmの砂州で、約8000本のクロマツも名松百選として名高く、また、海拔130mの高台にある「天橋立ビューランド」から見る天橋立は「飛龍観」と呼ばれ、龍が天に舞い上がる姿を表しています。名水「磯清水」、伊勢より早く天照大神を祀った「元伊勢籠神社」、日本三文殊で知られる「智恩寺」などの名所も点在しています。

1. 天橋立

天橋立は、百人一首の歌にも詠まれ、雪舟により「天橋立図」が描かれるなど、古くから人々に親しまれてきた日本三景の一つです。

白砂青松で知られる天橋立の松は、砂州全般にわたって地表下60～120cm以下に存在する地下水(宙水)で育てられており、その地下水が湧き出す井戸「磯清水」があります。

また、天橋立の砂州両側の海底勾配は際立って急傾斜で、日本の多くの砂州とは異なっています。

保全活動

地域住民等による「天橋立を守る会」(昭和40年1月結成)は、天橋立の景観を守るボランティア団体の代表で、天橋立の公園清掃や毎年恒例行事として「クリーンはしだて1人1坪大作戦」などに取り組まれています。

また、天橋立の環境をテーマとした啓蒙活動や、周辺地域の小・中学生を対象にした環境学習も実施されています。



2. 様々な天橋立が臨めるポイント



天橋立雪舟観展望休憩所
(宮津市獅子崎)

雪舟がこの山頂から書いたとされる国宝「天橋立図」と同じ景観が臨めます。

また、4月中旬から下旬にかけては、ミツバツツジが鮮やかなピンク色の花を咲かせます。



大内峠一字観公園(与謝野町)

天橋立を横一字に眺望できるこの公園は、春は桜、初夏には新緑、秋には紅葉と四季折々に変化する景観が絶景です。

与謝野寛・晶子などの歌碑、句碑が点在します。



傘松公園(宮津市府中)

天橋立を見下ろす有名な「股のぞき」の名所で元伊勢籠神社近くから、リフト又はケーブルカーで登ります。



飛龍観(宮津市文殊)

海拔130mの高台にある「天橋立ビューランド」から見る天橋立は、龍が天に舞い上がる姿に似ていることから「飛龍観」と呼ばれています。

天橋立地区 マップ



3. 雲岩公園

雲岩公園は、鎌倉時代に栄えた「雲岩寺跡」で、標高130mの小高い山にあり、4月初旬から下旬にかけて、群生する約5,000本の主にミツバツツジの花が山全体を薄紫に染めます。

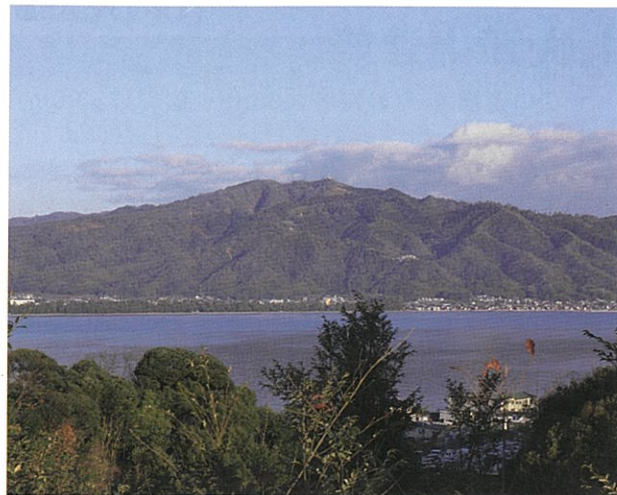
山頂には寺名の由来となった巨大な雲岩、金堂跡の礎石や府内でも5本の指に入る大きさの宝篋印塔などが残り、中腹の天王堂には町指定文化財の仏像（鎌倉時代）などが安置され、ツツジと共に見所になっています。



5. 栗田半島

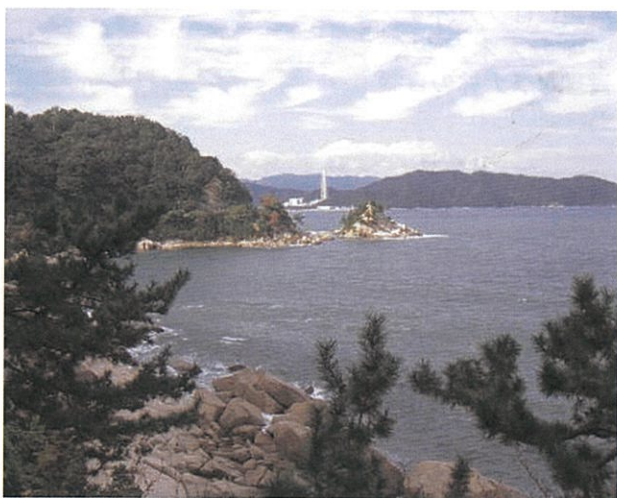
栗田半島の北端には、黒崎、東端には無双鼻が突出しており、海岸には急な岩崖がみられます。また、島陰にある越浜は砂色が白く美しい砂浜で、夏の海水浴が盛んです。

雪舟が天橋立の絵図を作成した地点であることから、天橋立雪舟観展望休憩所が設けられています。



4. 奈具海岸

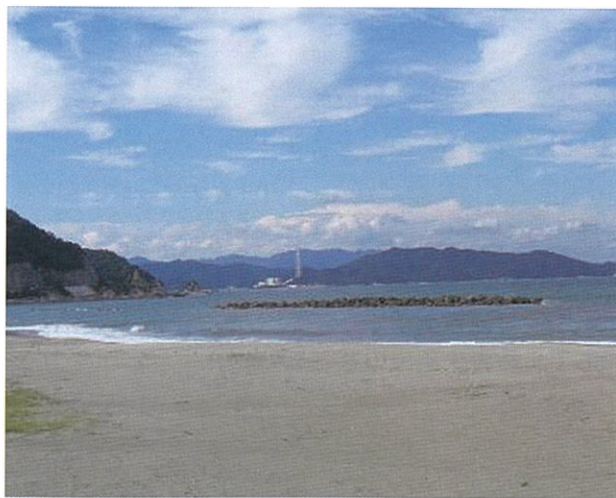
奈具海岸は、延長約3kmの花崗岩からなる岩石海岸で、高さは低いながらも海食崖が発達し、宮津花崗岩からなる白い岩肌とその上に生える松とが美しい景観をつくっています。



6. 由良浜

由良浜は「由良の戸を渡る船人 梶を絶え 行方も知らぬ 恋の道かな」（曾禰好忠（そねよしただ））と百人一首にも歌われ、森鷗外の名作「山椒大夫」の舞台ともなっています。

砂浜の奈具海岸寄りにある大きな岩の辺りが、安寿姫が一日三荷（さんが）の塩水を汲んだ場所と言われています。



4. 大江山連峰地区

大江山連峰地区は、丹後半島の南に位置し、標高600～800mの稜線が東西に連なっている連山地形です。連山の山頂からは360度の視界が広がるパノラマ景観や稜線からの山間景観、鬼嶽稻荷神社から見る雲海など、さまざまな自然風景を見ることができます。

1. 大江山連峰

大江山連峰は、鬼の岩屋(686m)～鍋塚(763.0m)、鳩ヶ峰(746.0m)～千丈ヶ嶽(832.5m)～赤石ヶ岳(736.2m)へと続くなだらかな起伏と山容を持つ一連の峰群をさしています。

山裾から稜線まで雄大な山容を加悦谷平野から見通すことができます。

この連峰の山稜線上には縦走路があり、麓からの登山道も多数みられ、山頂からの眺望を楽しむことができます。

また、稜線付近には、ミズナラーリョウブ群落、ササ群落、ススキ草原等が多くみられ、四季の変化に富んだ景観が楽しめます。



2. 三岳山

三岳山は839mと国定公園内では標高の高い山で、山頂付近には三岳神社や行場としての行者神社(祠のみ)もあり、古くから信仰の山として利用されてきました。

大江山連峰と同様に、特定植物群落である下野条のシデ林等、自然性の高い落葉広葉樹林が分布しています。

また、雲海が発生する場所としても有名で、宿泊施設として三岳青少年山の家があります。



3. 滝の千年ツバキ

京都府の天然記念物に指定されている滝のツバキ(クロツバキ)は、同種のものとしては日本最古の樹齢1200年以上、樹高約10m、幹周3.3mもある大木です。3月下旬から開花し、4月から「滝の千年ツバキ祭」が開催されています。

このツバキを取り囲むように、周辺地は滝の千年ツバキ公園としてトイレ、駐車場、遊歩道等が整備されています。



4. 鬼嶽稻荷神社

鬼嶽稻荷神社は、19世紀中頃に社殿が移されたと言われており、大江山山頂(千丈ヶ嶽)から200m近く低い標高610mに位置し、周辺にはブナ、トチノキ等の大木が多く、貴重なブナ林の自然植生がみられます。

また、鬼嶽稻荷神社付近は、果てしなく続く海原のような雲海が眺められる名所としても有名です。



5. 二瀬川溪谷

二瀬川溪谷は、狭い川幅を河川水が急流となって激しい浸食作用を受け、大小様々な奇岩が所狭しと積み重なる美しい溪谷をなしています。

二瀬川流域には近畿自然歩道があり、つり橋も設けられており、自然とのふれあい活動が行える場所となっています。



6.毛原

毛原は、農林水産省の「日本の棚田百選」にも選定された棚田約600枚とともに、スギ・ヒノキ等の植林と落葉広葉樹林(コナラ)が混生した森林があり、美しい里山景観がみられます。また、遊歩道、水車小屋、四阿等の整備も進められています。

なお、棚田の奥には大岩神社があり、アカガシの巨木がみられます。



8.仏性寺(酒呑童子の里)

仏性寺(酒呑童子の里)は、大江山登山や観光における旧大江町側の拠点(入口)として、大江山青少年グリーンロッジの他、キャンプ場、テニスコート、日本の鬼の交流博物館、休憩所等の施設が整備されています。

近くの普甲峠へ続く元普甲道には、約1kmにわたり石畳が残っており、江戸時代の街道の面影を残す重要な古道となっています。



7.元伊勢内宮

元伊勢内宮は、元伊勢外宮とともに三重県の「お伊勢さん」の元になった神社で、杉の老木が立ち並ぶ長い表参道や境内の老杉をあわせて、神社内は神秘的な雰囲気漂っています。境内周辺には、神社の保護管理下におかれた常緑広葉樹(サカキ・コジイ群)の自然林がみられ、建物(神社)とともに、すぐれた景観を持ちあわせています。

また、城山の一部は、200m付近まではウラジロガシを中心とした常落混交林が主体で、標高400m付近ではイヌブナ等の落葉広葉樹が多くなっています。現在「岩戸山京都府歴史的自然環境保全地域」として、また「特定植物群落」として指定を受けています。



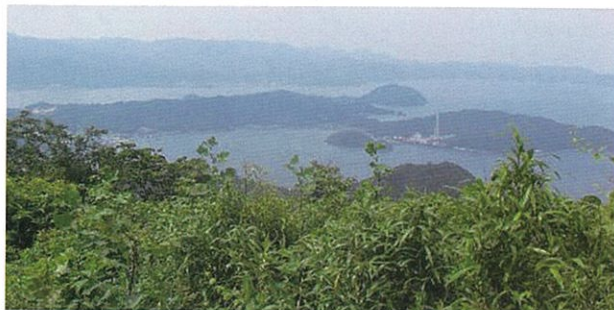
9.杉山・赤岩・由良ヶ岳

杉山・赤岩山は麓の今福集落や西方寺平集落から山稜線部がよく見通せる連山です。

赤岩山山頂からは、宮津方面がよく見え、眺望地点となっています。

まとまったクリ、ミズナラ、リョウブ、シデ等の比較的自然性の高い落葉広葉樹林も広く分布していて、四季の変化が楽しめる景観となっています。また、上宮津杉と呼ばれるアシュウスギの巨木も数多く残存しています。

由良ヶ岳は、西峰と東峰からなり、西峰からは天橋立や丹後半島が、東峰からは由良川や舞鶴湾など360度の眺望がそれぞれ広がっています。



大江山
連峰地区
マップ

若狭湾国定公園

① 概要

若狭湾は、半島と湾入を繰り返す複雑な海岸線を持つリアス式海岸であり、半島突端の海食崖・大小さまざまな島が浮かぶすばらしい風景が見られます。

これらの地域は、若狭湾国定公園として昭和30年に指定され、平成19年8月には丹後天橋立大江山国定公園の新規指定と併せてその区域も見直しされました。

所在地:	舞鶴市
指定年月日:	当初 昭和30年6月1日 最新 平成19年8月3日
面積:	3,738ヘクタール(京都府域のみ) 19,174ヘクタール(福井県域を含む)

② 各地区の特徴

若狭湾の「ダイナミックな海岸線」と青葉山の「雄大な山容と山頂からの絶景」など、さまざまな楽しみが広がる美しい公園です。

1 神崎海岸・大浦半島地区

神崎海岸・大浦半島海岸地区は、海岸線から断崖や岩礁などの迫力ある風景が数多く見られます。また、成生岬には、樹齢300年を超える日本最大級のスダジイが自生しています。

また、海岸景観の良好な展望地になっており、空山に至る林道から見える日本海に浮かぶ島々の風景が絶景です。

2 冠島・沓島






冠島は、オオミズナギドリ繁殖地となっており、沓島はウミネコの繁殖地となっています。冠島・沓島ともに希少な動植物が生息・生育する自然環境を有しており、厳正に保護を図る地区(特別保護地区)としています。

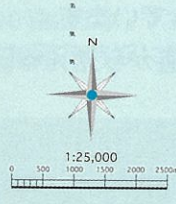
3 青葉山

美しい山容から別名「若狭富士」と呼ばれている青葉山は、その山姿だけではなく、山頂の展望台から内浦湾が一望でき、多くの登山者から親しまれています。

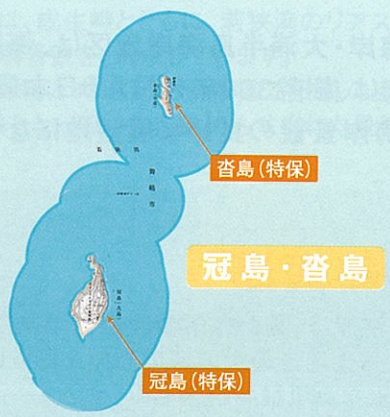
③ 地種区分

特別保護地区	原生状況を維持する必要がある地域	46 ha
第1種特別地域	現在の景観を極力維持する必要がある地域	284 ha
第2種特別地域	農林漁業活動について調整を図ることが必要な地域	1,860 ha
第3種特別地域	通常の農林漁業活動については原則容認する地域	1,353 ha
普通地域	特別地域の風景維持のための緩衝地帯として必要な地域	195 ha
計		3,738 ha

規制計画凡例	
	特別保護地区
	第一種特別地域
	第二種特別地域
	第三種特別地域
	普通地域

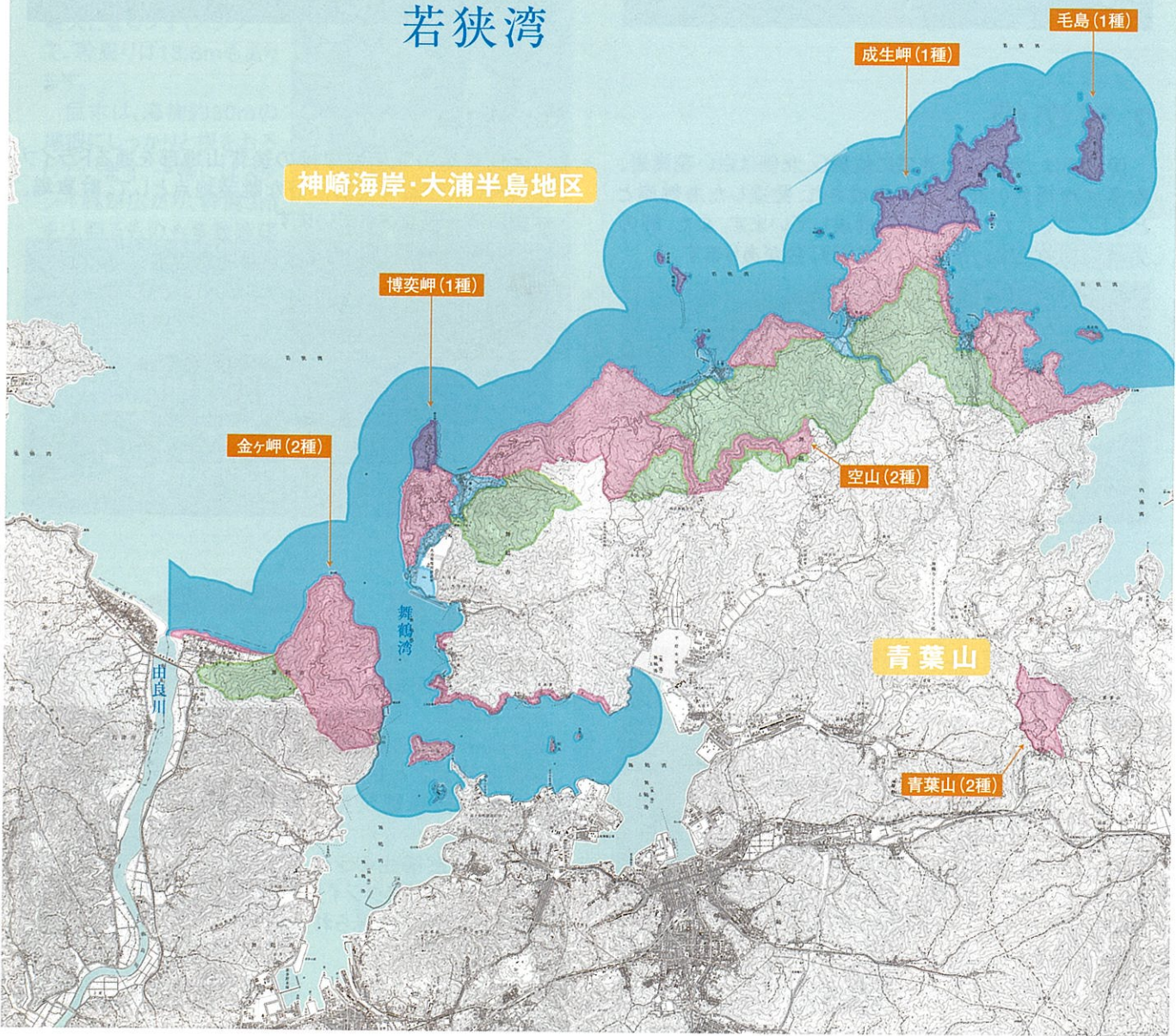


若狭湾国定公園 区域図



若狭湾

神崎海岸・大浦半島地区



1. 神崎海岸・大浦半島地区

神崎海岸・大浦半島海岸地区は、海岸線から断崖や岩礁などの迫力ある風景が数多く見られます。また、成生岬には、樹齢300年を超える日本最大級のスダジイが自生しています。

また、海岸景観の良好な展望地になっており、空山に至る林道から見える日本海に浮かぶ島々の風景が絶景です。

1. 神崎海岸

神崎海岸は、長さ2kmの砂浜で、隣接する由良浜とともに、丹後地方最大の河口砂州を形成しており、東側には貴重な海浜植物群落もみられます。



4. 三浜・野原

大浦半島の北側海岸線の後背山地部にあたり、美しい森林景観を形成しています。

三浜空山林道、三浜瀬崎林道などが整備されており、海が見通せるドライブルートになっています。



2. 博奕岬

博奕岬は、舞鶴湾の湾口に位置し、北側は白い花崗岩、南側は暗褐色の輝緑岩で構成され、発達した海蝕崖とともに、すぐれた海岸景観を構成しています。また、岬の先端の海拔129m地点に博奕岬灯台があります。



5. 空山

大浦半島の北側海岸線の後背山地部を通るドライブルート三浜空山林道の良好な眺望地点として、駐車場、休憩所等が整備されています。



3. 多祢山

大浦半島の西側に位置する標高556mの多祢山の頂上からは、眼下に冠島を望む素晴らしい眺望が開けています。また、周辺は、大浦森林公園として、イヌシデの巨木による「巨木の森」をはじめ、常盤木（ときわぎ）の森、カエデの森、水源の森などがあり、散策を楽しむことができます。



6. 成生岬

成生岬は、浸食されやすい変質安山岩及び凝灰角礫岩で構成され、高さ40mの海蝕崖、点在する海蝕洞とともに、すぐれた海岸景観が見られます。

また、自然植生のシイの群落があり、「スダジイ」と呼ばれる巨木も見られます。



7. 舞鶴自然文化園

舞鶴自然文化園は、四季折々の豊かな自然に恵まれ、里山の自然環境とのふれあいや自然観察の場として親しまれています。

園内には、ツバキ園（約1500種3万本）やアジサイ園（50品種5万本）などがあり、毎年開花時期には多くの来園者でにぎわいます。



9. 若狭湾の島嶼景観

花崗岩で構成されたアンジャ島・磯葛島・沖葛島や風島、奈島、毛島は、成生岬とともに、若狭湾のリアス式海岸のすぐれた島嶼景観を、構成しています。

また、入り組んだ地形から静穏で干満の差が小さく天然の良港となっている舞鶴湾もすぐれた景観となっています。



8. スダジイ

専門家による調査により明らかとなった、わが国最大となるシイ（スダジイ）で、幹周りは13.8mもあります。

巨木は、海拔約30mの尾根にしっかりと根をおろしています。一帯にはスダジイ林が広がり、幹周3mを上回るものも多数確認されており、魚付保安林として大切に守られています。



神崎海岸・大浦半島地区
マップ



2. 冠島・沓島地区

冠島は、オオミズナギドリの繁殖地となっており、沓島はウミネコの繁殖地となっています。
冠島・沓島ともに希少な動植物が生息・生育する自然環境を有しているため、特別保護地区としています。

1. 冠島

冠島は、舞鶴市成生岬から北に位置する南北に細長い島で、舞鶴市五老ヶ岳をはじめ、若狭湾沿岸各所から遠く島影を見ることができます。



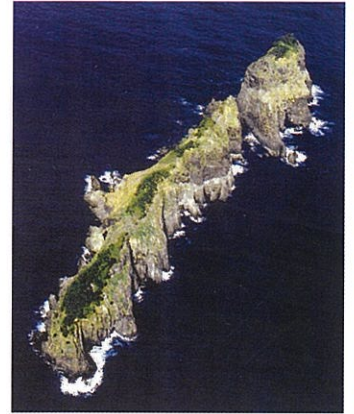
島の最高地点は168.8mであり、小規模の平地が島の南部に広がっており、周りの海岸線は海食崖など荒波が浸食を続けてきた急崖となっています。

国の天然記念物「オオミズナギドリの繁殖地」として有名ですが、その他にも希少な動植物の生息地でもあり、舞鶴市及び舞鶴市教育委員会に許可を得なければ上陸できません。

2. 沓島

沓島は、冠島のほぼ北、約2.5kmの距離に位置し、北に釣鐘岩と呼ばれる標高89mの岩礁があり、島の周りは切り立った急崖となっています。

ウミネコやヒメクロウミツバメの繁殖地として有名で、舞鶴市の天然記念物となっており、冠島と同様に、許可を得なければ上陸できません。



オシマ参り

「オシマ参り」とは、冠島参拝のことで、地元の漁師は、これをオシマサンと親しみを込めて呼び、豊漁と海上安全を願って参拝します。

島に祭られる老人島(おいとじま)神社の祭礼は、毎年6月1日。この日は、若狭湾沿岸各地からたくさんの漁師さんが、大漁旗をなびかせ参拝にやってきます。宮津市域では、小田宿野、田井、漁師町、江尻、大島などから、6月前後にそれぞれ参拝されます。また、村行事としては参拝を止めた地域でも、個人で参る方もあり、根強い信仰が続いています。



京都府の鳥 オオミズナギドリ

オオミズナギドリは、太平洋やインド洋を生活の場としている鳥で、繁殖のために日本へやってきます。2月下旬頃に飛来し、6月中旬頃にニワトリのLサイズくらいの卵を一個産卵、8月中旬頃孵化、11月上旬に島を離れます。その数、約20万羽と推定されています。

例年、島を離れる11月上旬に、悪天候や体力不足等により、舞鶴市やその周辺で落下して保護された個体は、体重や翼長等計測のうえ、足輪をつけ、飛び立てる場所まで運んで放鳥が行われています。



3. 青葉山

美しい眺望から別名「若狭富士」と呼ばれている青葉山は、その山姿だけではなく、山頂の展望台から内浦湾が一望でき、多くの利用者から親しまれています。

1. 青葉山

青葉山は、若狭富士の名で呼ばれ、美しい山容で親しまれています。

山頂は福井県側にあり、自然植生のブナ群落がみられ、第1種特別地域に指定されています。

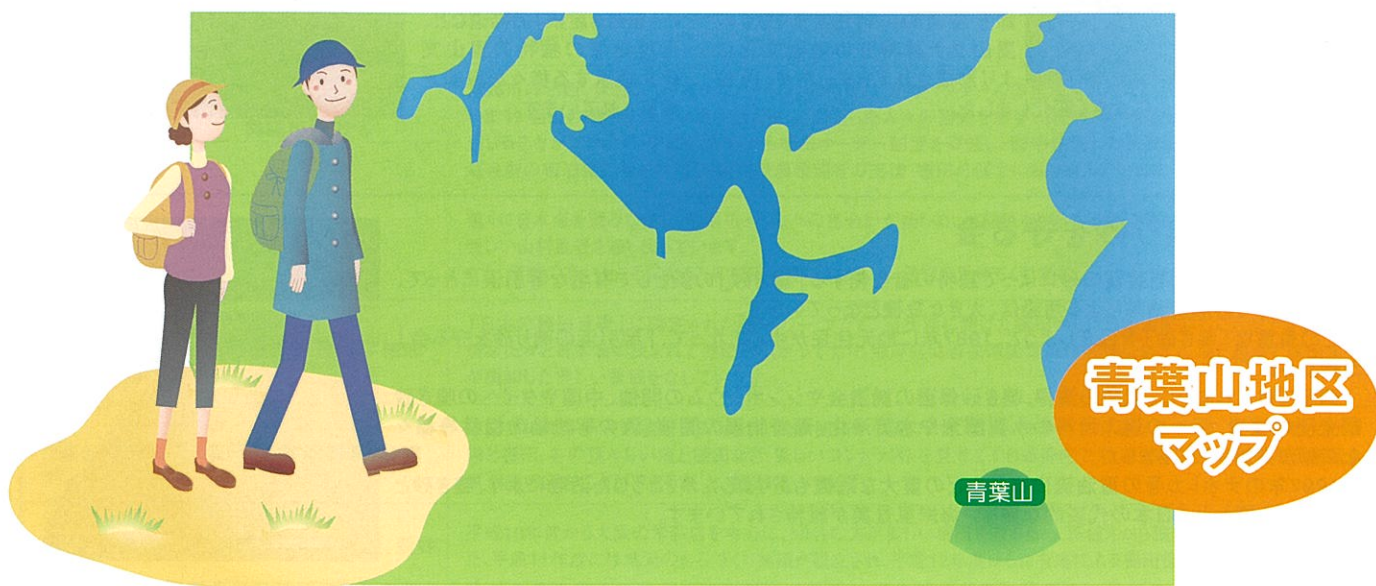
山頂付近の京都府側には、シデ群落が分布しています。



2. 保全活動

青葉山には、京都府指定希少野生生物である「オオキンレイカ」をはじめ、貴重な植物が多く生育しています。しかし、近年、心ない登山者によって青葉山の自然が荒らされています。

これを懸念した植物、昆虫、地質、鳥類などの分野の地元の研究者などにより「青葉山レンジャー隊」(昭和63年6月結成)が結成され、青葉山の動植物の保護と保全のために様々な取組がなされています。



自然と共生する里山の暮らしとそれを支える活動

2つの国立公園の所在する京都府北部地域には、棚田や茅葺き民家など、長年にわたる人と自然との関わりによって形成された里山のすばらしい文化と景観があります。そうした文化と景観は、多くの地域住民の方々やボランティアの活動によって維持されています。

福知山市毛原地区



毛原集落は、奈良時代から鎌倉時代に至る中世に形成されたと考えられ、自然があふれ、心暖かい人々により昔ながらの棚田が守られている魅力あふれる集落です。

丹後への最難所だった大江越えの裏街道として、今はもう幻の峠道となってしまった元普甲道（もとふこうみち）がありますが、その途中にある集落として宮津（天橋立）までの旅をする人に親しまれていました。

毛原地区の美しい棚田は、日本の棚田100選に選ばれていますが、地区住民のほとんどが高齢者となっており、棚田の管理が続けることが困難にあるため、都市住民を協働で美しい棚田を保全してゆくために『棚田オーナー制度』が実施され、都会では絶対に味わうことのできない様々な体験により、人気を集めています。



舞鶴市西方寺平地区

舞鶴市加佐地域の西方寺地区は、大江山連峰に程近い赤岩山の中腹にある集落で、急坂な斜面に全部で150～200枚、5～6町ほどの棚田があります。棚田の畦畔に大きな岩が顔を出し、開墾した人々の苦勞を偲び現在も米作りをしている農家の方の汗を感じることができます。

さらに、平成12年度から都市と農村との交流活動として、都市住民に棚田1区画（100㎡～200㎡）のオーナーになってもらう『棚田オーナー事業』が実施されています。

短・中期滞在型の宿泊施設（トレーラーハウス）や屋外トイレ、シャワーを設置し、事業による田植えから稲刈りまでの農作業や、餅つきやおにぎりづくりなどを行う収穫祭を通じた交流の結果、新規の就農者や後継者が見つかるなど活気あふれる集落となっています。



宮津市上世屋地区



上世屋地区は、丹後半島山間部に位置し、集落や棚田、その周囲にある広葉樹林を主体とする森林との組み合わせが織りなす、美しい里山風景がみられます。

世屋の里山風景は、里山の資源を循環的に利用する独特の里山ブナ林特有の地域文化により形成されてきましたが、過疎

化の著しい進展とともに大きく変化しました。

こうした中で、「NPO法人里山ネットワーク世屋」による衣・食・住を通じた里山管理、環境教育やレクリエーションの場としての里山利用などの活動や、「藤織保存会」による藤織の伝承、立命館大学の学生による「丹後村おこし開発チーム」を中心とした「笹葺き屋根」の修復など、世屋地域の独特の里山文化を継承する様々な取組が実施されています。



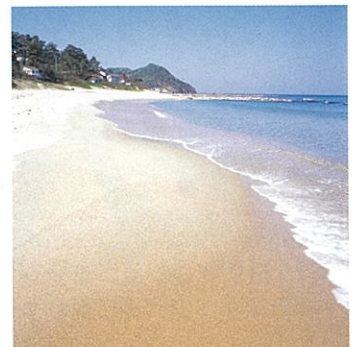
琴引浜の鳴り砂を守る会

円磨された清浄な石英質の砂によって独特の音を発する「鳴き砂」の浜として有名な琴引浜にとって、近年の海からの漂着物等による汚染は、大きな危機となっています。

この貴重な「鳴き砂」を保全しようと、1987年に地元住民が中心となって、「琴引浜の鳴り砂を守る会」が設立されています。

同会ではこれまでに、浜辺の清掃、鳴き砂保護の講演会やシンポジウムの開催、中国やタイへの鳴き砂調査団の派遣、浜への流入河川の水質調査や水質浄化、漂着物展の開催、浜の背後地の植林等様々な活動が実施されてきました。

1997年のナホトカ号の重油流出事故などの重大な危機もありましたが、こうした活動により、鳴き砂と白砂青松と謳われる日本の代表的な美しい海岸風景が維持されています。



伊根浦舟屋群

伊根湾は三方が緑の山に囲まれており、また、天然の防波堤として「青島」が湾の入口に横たわる天然の良港となっています。伊根の住民は古くから漁業で生計を立てており、日本三大鯛の一つ「伊根鯛(いねぶり)」で有名です。

湾内の周囲約4kmの海岸には舟屋群がぐるりと取り囲み、全国に類を見ない独特の歴史的景観を今に伝えています。

舟屋が建てられたのは、波荒い日本海にありながら伊根湾は南向きであり、波静かで潮の干満差が少なく、急に海が深くなっている地形的特性のためです。舟屋の構造は、土台や柱は「椎」の木を用い、梁(はり)は松の原木を使用してがっしりと組んであり、現在は様々な用途に使用されています。

伊根浦舟屋群は、平成17年に漁村では全国初となる「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、住民たちによって大切に守られています。



京都府モデルフォレスト運動

森林は、地球温暖化の防止や災害の防止、景観の保全など多様な役割を担う府民共有の貴重な財産です。京都府では、その森林を、森の恵みを受けている府民みんなで守り育む「モデルフォレスト運動」に取り組んでいます。

平成18年11月には、森林に関係する団体だけではなく、府民、企業等の皆さんや、大学、文化活動団体、ボランティア団体等多くの方々の参加を得て、モデルフォレスト運動を推進する日本で初めての団体として『社団法人京都モデルフォレスト協会』が設立されました。

協会では、「地域の豊かな水源を守る命の森」、「京都の伝統行事を支える文化の森」、「ドングリや山菜がたくさん実る恵みの森」、「子供達の環境学習や自然体験ができる学びの森」等々、企業、団体や府民の皆さんと一緒に進める森づくりを推進するための仕組みづくりや、参加を支援する活動が行われています。



公園及びその周辺で見られる棚田

名称	所在	見どころ
毛原の棚田	福知山市大江町字毛原	「日本の棚田百選」に認定された棚田の一つで、美しい景観を見ることができます。棚田は約600枚、復元された水車小屋や展望台をはじめ、大岩神社、今昔物語にでてくる「元普甲道」跡、古い言い伝えのある「袈裟切り地蔵」など、歴史的・文化的な遺産がたくさんあり訪れた人の心を和ませてくれます。
台頭の棚田	福知山市三和町字台頭	福知山市三和町から綾部市に向かう国道173号線沿いの谷間に広がる1区画の大きさが非常に小さい棚田です。細い谷間に畑とわずかな水田が張り付いており、棚田での農業の苦労がよくわかる地域です。
坂浦の棚田	福知山市坂浦	福知山市北部の国道176号線沿いに残る棚田です。以前存在した、かやぶきの農家は今はありませんが、地域には北稜総合センターをはじめ、石積み親水路(坂浦川)や散策道があり、棚田の美しい景観の中で、自然とふれあうことができます。
西方寺平の棚田	舞鶴市西方寺	舞鶴市の北西、赤岩山(標高669メートル)の中腹に、約6ヘクタールの農地が急峻な斜面にずっしりと腰を据えています。棚田の畦畔に大きな岩が顔を出し、開墾した人々の苦勞を偲び、現在も米作りをしている農家の方の汗を感じることができます。平成12年度から棚田オーナー制度を実施し、都市住民との交流を図っています。短・中期滞在型の宿泊施設等を設置し、新規就農希望者の支援・棚田の保全に取り組んでいます。
上世屋の棚田	宮津市上世屋	遠くに日本海を望みながら、四季折々、山々の色合いが楽しめ、小規模ながらも田面に映し出される家屋と相まって美しい山村風景を醸し出しています。また、標高の高いところにあるこの棚田の朝はすばらしい景観を見せてくれます。
袖志の棚田	京丹後市丹後町字袖志	「日本の棚田百選」に認定された棚田の一つです。扇状地を開けた棚田からは日本海を望むことができます。急峻な山々と日本海に挟まれて棚田が広がっており、海岸線は若狭湾国定公園区域にあって、海と里山と棚田集落が調和した美しい景観をなしています。
磯の棚田	京丹後市網野町字磯	田んぼに四季折々の姿があるように、磯の棚田から望む日本海にも四季折々の姿があります。初夏の穏やかな海と棚田、冬の荒々しい海と棚田など、美しいコントラストを見せてくれる景色です。京都の棚田の中でも日本海を真正面の望むことができる美しい棚田の一つです。
新井の棚田	与謝郡伊根町字大原、新井	平成10年度から大阪の米穀店を中心に、50名の方が美しい棚田を守るため、田植えから稲刈りまで行っています。また、平成11年度には地元のみらづくり組織が設立され、平成12年度からは有志による棚田保全が実践されています。

歴史・文化のかおりにあふれる伝説

両公園のある京都府北部地域は、自然に恵まれた地域としてだけでなく、大江山の鬼伝説、丹後の浦島太郎や羽衣伝説、山椒大夫の昔話などの多くの歴史・文化の香りにもあふれています。

◆3つの鬼伝説

古代、山は交通面での障害であり、異界とされていました。大江山には東と西に古代から重要な道が二つあり、鬼のいる異界と人とが交流する接点の峠や坂道に、鬼が出たという伝説が残っています。

1 日子坐王(ひこいますのみこ)伝説

「丹後風土記残欠」に記されている最初の鬼退治伝説。

第十代崇神(すじん)天皇の時代に、天皇の弟である日子坐王の軍勢が青葉山中に住む陸耳御笠(くがみのみかさ)という土蜘蛛と由良川筋で激しく戦い、与謝の大山(大江山)に逃げ込んだ、という話です。

「丹後風土記残欠」とは、8世紀に国の命令で丹後国が提出した地誌書ともいべき「丹後風土記」の一部が京都北白川家に伝わっていたものを、15世紀に僧智海が筆写したものとされています。

2 麻呂子親王(まろこしのう)伝説

用命天皇の時代、英胡(えいこ)・軽足(かるあし)・土熊(つちぐま)に率いられた悪鬼が集まり、三上ヶ嶽(大江山)を本拠に暴れ回っていたので、勅命を受けた麻呂子親王(聖徳太子の異母弟)が退治した、という話です。

3 酒呑童子(しゅてんどうじ)伝説

平安時代中期、大江山には酒呑童子という鬼が配下の鬼多数を従えて棲んでおり、京の人々は怯えきっていたが、池田中納言の娘がこの酒呑童子にさらわれたことから、一条天皇が源頼光に討伐の勅命を発し、頼光は鬼達に毒酒を吞ませて自由を奪い、だまし討ちに退治した、という有名な話です。

◆日本最古の浦島伝説

全国各地には様々な浦嶋伝説が伝えられていますが、伊根町の浦嶋神社(宇良神社)には、日本最古の浦嶋伝説があります。

浦嶋子(浦嶋太郎)はひとり小舟に乗って釣りを楽しんでいましたが、三日三晩たっても一匹の魚も釣ることができませんでしたので、諦めて竿を上げようとしたところ、一匹の五色の大亀を釣り上げました。

恐る恐る舟の中に入れ眺めているうちに、やがて居眠りをしてしまいました。しばらくして目を覚ますと、亀は美しい乙女の姿となって嶋子を常世の国へ誘い、二人して舟にて常世の国へ行きました。

乙女の住むという立派な屋敷の門前で嶋子を待たせ、乙女は両親に夫婦の契りの許しを得るため門の中に入れていきました。待っている嶋子の前に、7人の子供達と、8人の子供達が入れかわり出てきて、「亀姫(神女)の夫になられる方でございます」と知らされ、さんざんいたづらをされます。そこで乙女が亀姫という名前であると知り、とても不安な気持ちで待たされましたが、その後夫婦となることを許され、毎日楽しい日々を送りました。

ところが三年たったある日のこと、嶋子に故郷への思いがあることを知った亀姫は、嶋子に玉櫛笥(玉手箱)を与えて「再会を期するならば、けっしてこの玉櫛笥の蓋をあけてはなりません、お約束してください」と告げて、約束の後、嶋子は故郷に送り帰されました。

故郷に戻った嶋子は変わり果てた風景に驚き、出会った老女に尋ねてみると「三百年も昔、嶋子という人が海に釣りに出かけられたまま帰ってこられなかったようだ」と告げられました。常世の国の生活が三百年にあたることをさと、その後十日間ほど生きていましたが、日毎に亀姫を思う心がつり、約束を忘れ玉櫛笥の蓋をあけてしまいます。すると中から紫の煙が蘭の香りをただよわせて立ち登り、常世の国方へたなびき、その煙を追っていくうちに、白髪の老翁となり亡くなりました。



◆羽衣伝説

1 磯砂山の天女伝説

磯砂山の頂上近くの女池で8人の天女が水浴びをして楽しんでいましたが、通りかかった比治の里の若い狩人・三右衛門が木にかけられていた羽衣のひとつを持ち帰り、大黒柱に穴を開けその中に隠しました。羽衣を持ち去られ天に帰れなくなった天女は、三右衛門を訪ね「羽衣を返して欲しい」と頼みましたが断られ、三右衛門と結婚し3人の美しい娘を生みました。

天女は農業、養蚕、機織り、酒造りなどの優れた技を持ち、その技術を里人たちにも教えたため、比治の里は豊になりました。その後、天女は、隠されていた羽衣を見つけ天へ帰ることができました。その天女の娘のひとりをお祀ったのが乙女神社で、この神社にお参りすると美しい女の子を授かると言われています。

2 安達家に伝わる七夕伝説

天女の子孫と言われる安達家に伝わる伝説です。安達家の家紋は○に七夕の二字が入った日本唯一のもので、安達家は代々三右衛門を襲名しています。七夕の日には、安達家に伝わる「牽牛・織女の図」の掛軸や古い猟具の矢筒、矢尻などが床の間に飾られ、近在の人たちがお参りしています。

この地方では古くから七夕の日には、サトイモの葉の露を集め、その露で墨をすって色紙や短冊に歌や願いごとを書いて竹の枝に結びつけ、手習や手芸の上達を願いました。この竹は翌日、川に流されますが、これを「七夕送り」と言います。この風習が全国に広まり、現代の七夕飾りに発展したと言われています。

国定公園及びその周辺の花暦

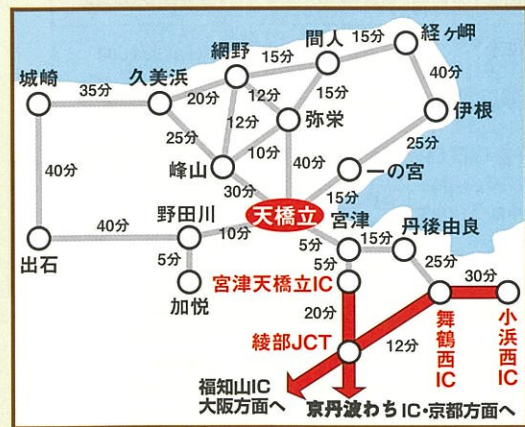


花名	見頃	場所	市町名
山茶花	1月上旬～3月中旬	舟屋の里公園	伊根町
菫椿	1月上旬～3月下旬	舟屋の里公園	伊根町
	1月～3月	薬師ヶ丘 さくらの森公園	京丹後市峰山町
		金峰神社	京丹後市峰山町
	3月中旬～4月下旬	舞鶴自然文化園	舞鶴市
	滝の千年ツバキ公園	与謝野町 (加悦地域)	
白木蓮・ レンギョウ・こぶし	3月上旬～4月上旬	舟屋の里公園	伊根町
水仙	3月～5月	丹後松島展望台	京丹後市丹後町
ヒューガミズキ	3月上旬～4月上旬	大江山一帯	福知山市大江町
桜	4月上旬	共楽公園	舞鶴市
		舞鶴公園	舞鶴市
		瑠璃寺	舞鶴市
		与保呂川沿い	舞鶴市
		傘松公園	宮津市
		板列公園	与謝野町 (岩滝地域)
		薬師ヶ丘 さくらの森公園	京丹後市峰山町
		比治山峠	京丹後市峰山町・ 久美浜町
	4月上旬～4月中旬	滝上公園	宮津市
		舟屋の里公園	伊根町
		大内峠 一字観公園一帯	与謝野町 (岩滝地域)
		親水公園	与謝野町 (加悦地域)
		峯空園	京丹後市大宮町
	4月中旬	碓高原・経ヶ岬	京丹後市丹後町
桃	4月上旬	徳光高山桃団地一帯	京丹後市丹後町
	4月中旬	久美浜町浦明	京丹後市久美浜町
梨	4月中旬	久美浜町平田	京丹後市久美浜町
コデマリ リンゴ	4月上旬～5月下旬	舟屋の里公園	伊根町
どうだんつつじ	4月上旬～5月下旬	舟屋の里公園	伊根町
山吹	4月上旬～5月下旬	舟屋の里公園	伊根町
石楠花	4月下旬～5月上旬	舞鶴自然文化園	舞鶴市
	5月上旬	成相寺	宮津市
藤	5月上旬	オノ神の藤公園	福知山市大江町



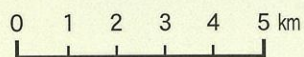
花名	見頃	場所	市町名
ツツジ	4月上旬	雲岩公園	与謝野町 (野田川地域)
	4月下旬	天橋立雪舟観 展望休憩所	宮津市
	4月下旬～5月上旬	東舞鶴公園	舞鶴市
		青山公園	与謝野町 (加悦地域)
		如意寺	京丹後市久美浜町
	4月下旬～5月中旬	舟屋の里公園	伊根町
	4月下旬～5月下旬	東山公園	京丹後市久美浜町
平戸ツツジ	5月上旬～5月下旬	舟屋の里公園	伊根町
ハマナス	5月上旬～5月下旬	天橋立公園・小天橋	宮津市
シャリンバイ	5月上旬～6月下旬	舟屋の里公園	伊根町
タニウツギ	5月上旬～7月下旬	舟屋の里公園	伊根町
ハクチョウゲ	5月上旬～10月下旬	舟屋の里公園	伊根町
アカシヤ	5月下旬～6月上旬	久美浜町葛野～ 箱石砂丘地	京丹後市久美浜町
アジサイ	6月～7月中旬	舟屋の里公園	伊根町
	6月中旬	上司谷公園	与謝野町 (加悦地域)
	6月下旬～7月上旬	舞鶴自然文化園	舞鶴市
	6月下旬～7月下旬	野田川堤防	与謝野町 (野田川地域)
	6月下旬～7月下旬	スイス村森林公園	京丹後市弥栄町
クチナシ・ ヒメクチナシ	6月～7月	舟屋の里公園	伊根町
ヒマワリ	8月上旬～8月中旬	野田川 わくばる周辺	与謝野町 (野田川地域)
ハギ	8月中旬	如意寺	京丹後市久美浜町
紅葉	10月中旬	権現山	京丹後市峰山町
	10月中旬～11月上旬	野間地域一帯	京丹後市弥栄町
		大江山一帯	宮津市・与謝野町・ 加悦・福知山大江市
	10月中旬～11月中旬	世屋高原 家族旅行村周辺	宮津市
		伊根温泉リゾート	伊根町
		雲岩公園	与謝野町 (野田川地域)
	10月下旬～11月下旬	大内峠 一字観公園一帯	与謝野町 (岩滝地域)
	10月下旬	崇山森林公園一帯	京丹後市大宮町
		岩屋寺奥の院付近	京丹後市大宮町
		内山自然遊歩道、 高山一帯	宮津市・ 京丹後市大宮町
11月中旬	金剛院	舞鶴市	
モクセイ	10月上旬～10月中旬	大宮町一帯	京丹後市大宮町
石菖	10月上旬～11月中旬	日吉神社	宮津市
サザンカ	11月下旬～12月下旬	日吉神社	宮津市

丹後天橋立大江山国定公園

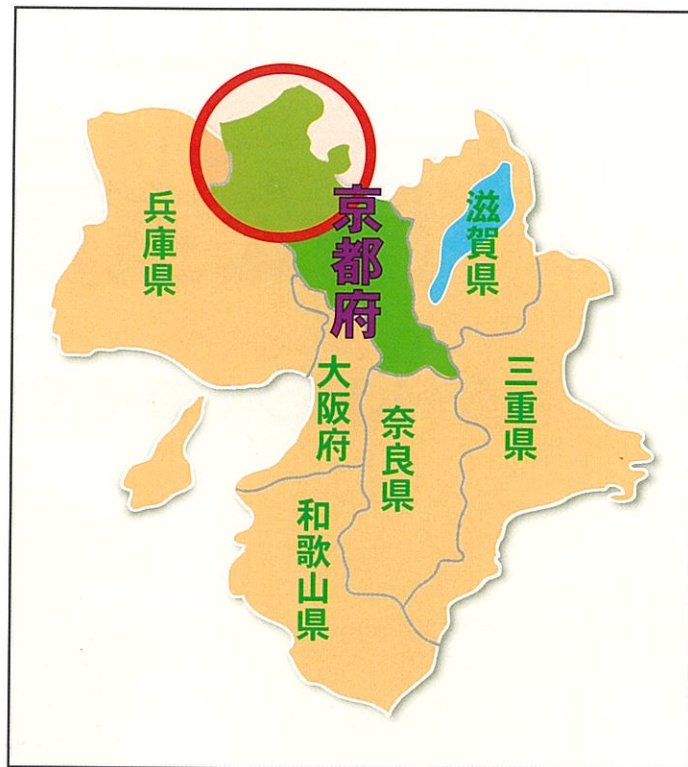


天橋立からの道路ガイド

- 自然
- 歴史・文化
- 体験・レジャー
- 道の駅
- 丹後七姫



至綾部JCT



日本三景
天橋立

若狭湾国定公園





京都府

京都府文化環境部自然環境保全課

〒602-8570 京都市上京区下立売新町西入藪ノ内町
TEL: 075-414-4706 FAX: 075-414-4705